

観光振興の取り組み 事例紹介

(一社) 知床羅臼町観光協会
事務局長 池上美穂

羅臼町の特徴

■ 豊かな自然

- ・世界自然遺産・国立公園
- ・根室海峡に集まる鯨類
- ・飛来・営巣する鳥類

■ 北方領土国後島に隣接

- ・島が間近に見られる (25 k m)
- ・元島民が暮らしている

■ 漁業が基幹産業

- ・年間約 100 億円
- ・一年中行われる漁業
コンブ漁・ウニ漁・サケ定置網漁・イカ釣り漁
スケソ刺網漁・ホッケ網漁・タコ縄漁・・・

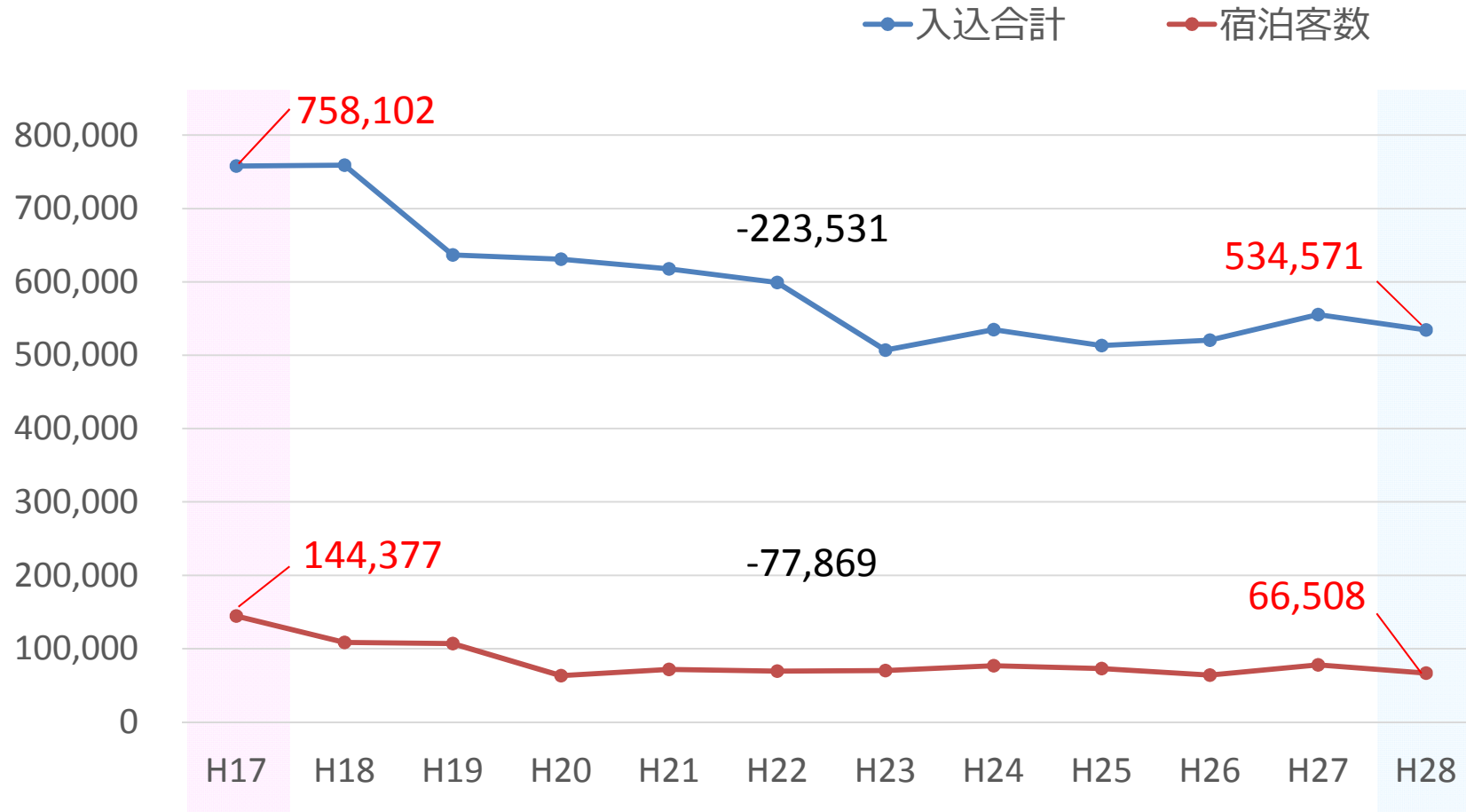


知床

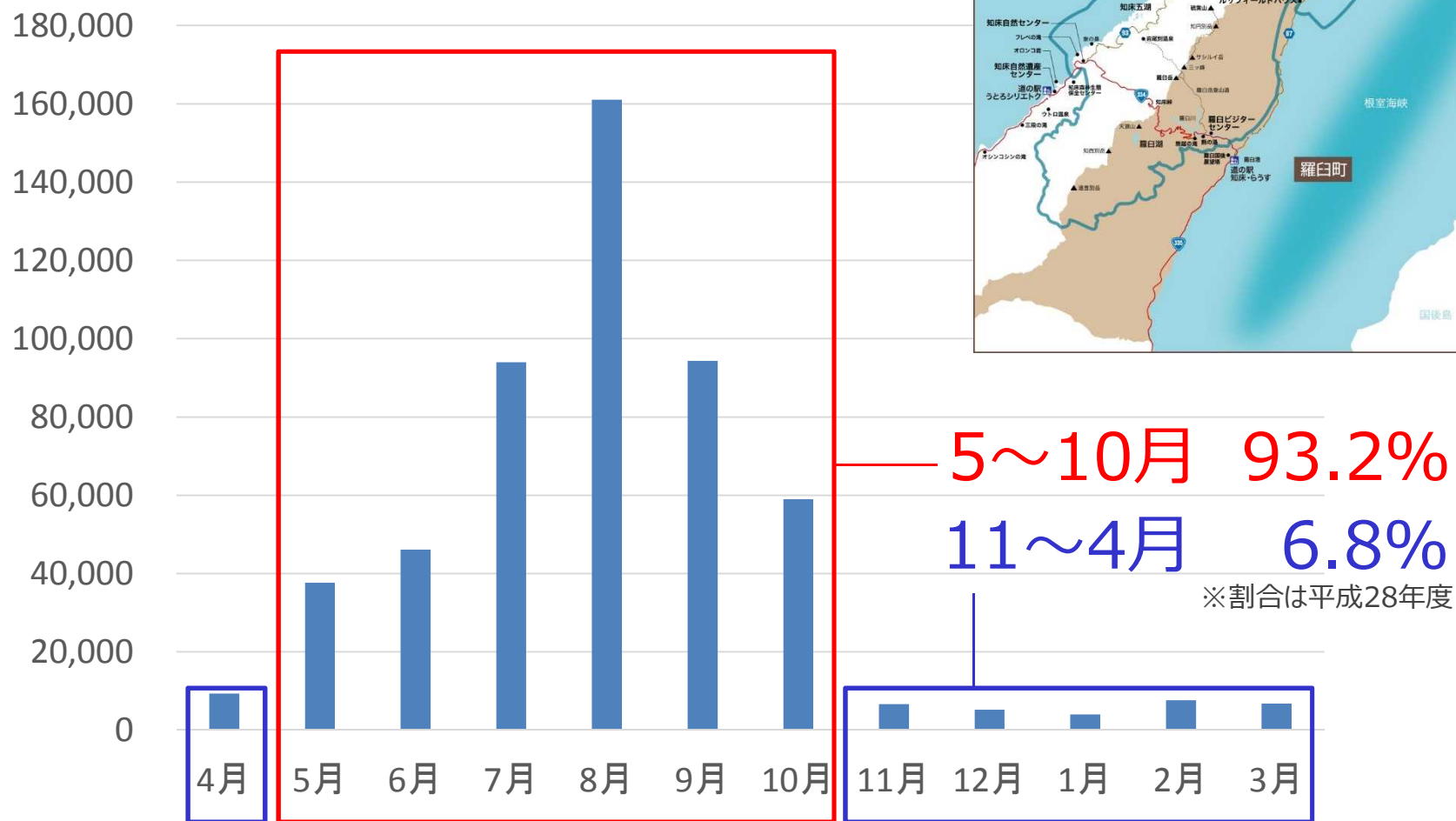
昭和39年国立公園指定、平成17年世界自然遺産登録



羅臼町観光入込数・宿泊数



月別平均入込数 (H24-28)



漁業エコツアーリズムの取組み



春の刺し網漁



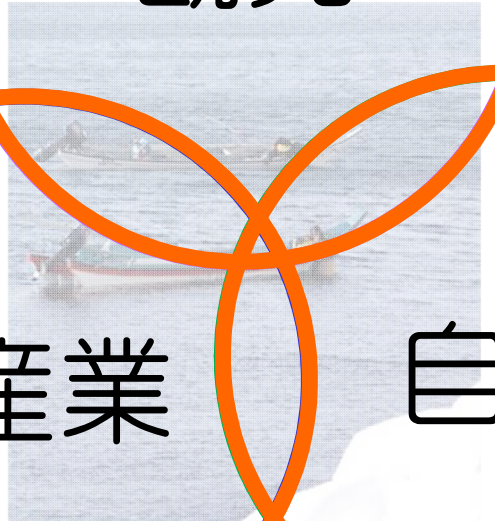
産白昆布漁



イカ釣り漁



さけ・いか定置網漁



ウニ漁



冬の刺網漁

観光

水産業

自然

漁業エコツアーリズムの取組み

	内 容	現 在
1995年	小型観光船（岬・流氷・ワシ）	継続、ホエールウォッチングが好調
1997年	サケ定置網起しツアー	2年ほどで中止
1999年	羅臼湖トレッキング、ワンデイトレッキング	ガイドにより継続
	観光ポイントボランティアガイド	数年で中止→大学研究チームにより再開
2000年	知床半島のパノラマウォーク	2014年で終了
2001年	知床岬クリーンボランティアツアー	継続
2005年	知床雪壁ウォーク	継続
2007年～	エゾバフンウニを探して磯あそび体験 スケソ漁船の水揚げ見学・加工体験 昆布漁見学番屋作業体験 昆布保管倉庫見学・体験 鮭・鱒遡上・秋サケ荷揚げ見学 市場・魚のセリの見学 ウニ種苗センター見学 深層水取水施設見学 浜の母ちゃん料理教室体験	中止 中止 一般漁師により継続 産業ガイド、修学旅行プログラムとして継続 修学旅行プログラムとして継続
	近年	ボートツアー（トド・ヒグマ・漁火・ウニ漁） シマフクロウ観察、ウニ加工体験 知床岬赤岩地区羅臼昆布エコツアー

市場見学の仕組み、町民ガイド認定制度

↑北海道マリンビジョン2 1 促進期成会会長賞受賞

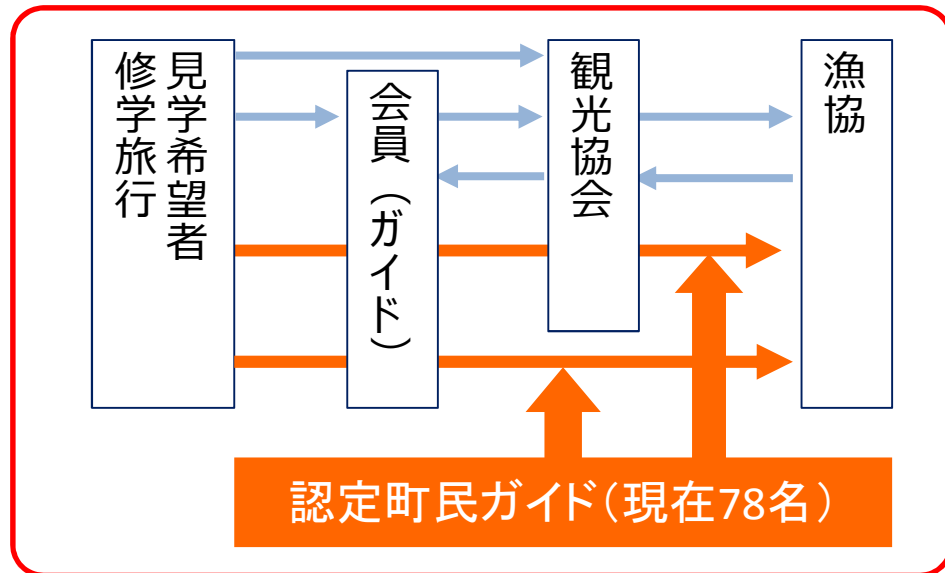


グループ分けのリストバンド
漁業者からも目立つ蛍光ベスト

【鮮魚卸売市場見学】ガイド会社及び観光協会が実施している。グループ毎に町民ガイドが付くことを条件とし、事前申し込みする。



【秋鮭荷揚見学】
夜が明ける前で暗く、フォークリフトが行き交うため、通行ルートなどをルール化



知床羅臼町体験学習推進協議会設立

合言葉は
“オール羅臼”

町内全20団体で組織し、
主に修学旅行の受入れを行っている

(幹事団体)

- ・羅臼町
- ・羅臼漁業協同組合
- ・羅臼町商工会
- ・知床羅臼町観光協会

(事務局) 羅臼町産業課

(受付窓口) 知床羅臼町観光協会



【つみれ汁・さくらでんぶ作り体験】
漁協女性部による手ほどき



【海洋氏深層水取水施設見学】
役場職員による解説



【羅臼昆布倉庫見学・加工体験】
漁業者による解説・指導



【ウニ種苗センター見学】
漁協職員による解説

漁業エコツーリズムの取組み

知床エコツーリズム戦略 (2013年策定)

- 3つの原則と対応
 - 遺産地域の自然環境の保全とその価値の向上
 - 世界の観光客への知床らしい良質な自然体験の提供
 - 持続可能な地域社会と経済の構築

- 8つの必要な視点と対応
 - 地域主体・自律的・持続的であること
 - 共有・協働・連携・ネットワーク
 - 自然環境を保全すること
 - 自然生態系に関する理解を促進すること
 - 地域の文化・歴史的背景を踏まえること
 - 自己責任の原則と管理責任の分担
 - 知床ブランド価値を高めるという視点を持つこと
 - 順応的管理型であること

漁業エコツーリズムの取組み 史実の復元と伝承の取組み

知床世界自然遺産地域適正利用エコツーリズム検討会議 承認

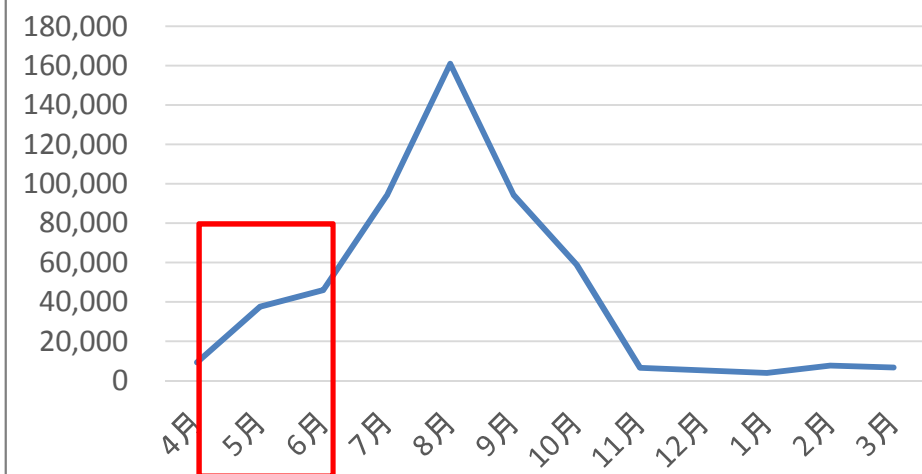
知床岬399番地上陸ツアー

～知床岬の歴史は羅臼昆布にあり～

このツアーは、伝統的に続く羅臼昆布漁法を学び、知床の恩恵を受け、厳しい自然環境の中で、家族単位で営まれてきた漁業の歴史・文化を後世に遺したいという想いのもと、実施します。参加できるのは1日に20人。期間限定7/15～8/15。参加料一人30,000円。実在の住所“羅臼町知床岬399番地”に上陸できる唯一のツアー



月別平均入込数 (H24-H28)



知床半島最大の湖羅臼湖トレッキングで雪遊び



日本屈指のシャチ遭遇率を誇る ホールウォッチング



北方領土元島民の講和



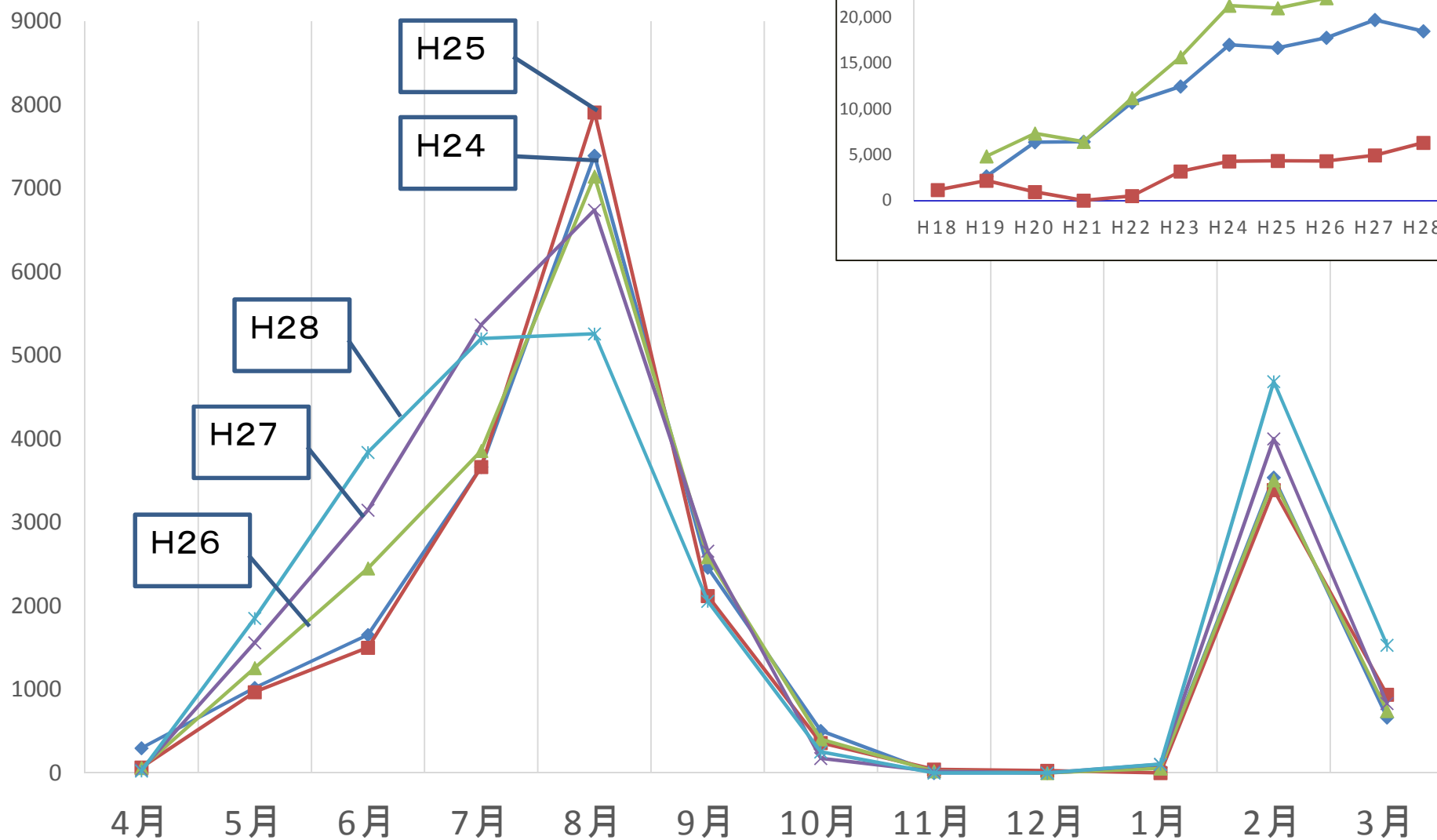
浜の母ちゃん料理教室



昆布漁師が教える加工体験

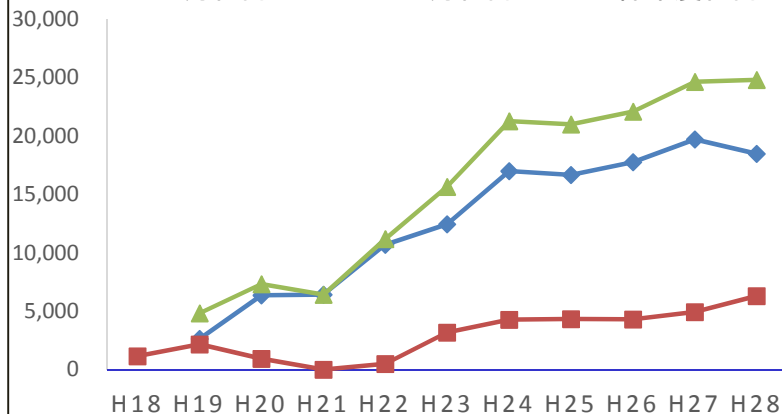
月別観光船乗客数 (羅臼町・観光協会調べ)

◆ H24 ■ H25 ▲ H26 ✕ H27 ✧ H28

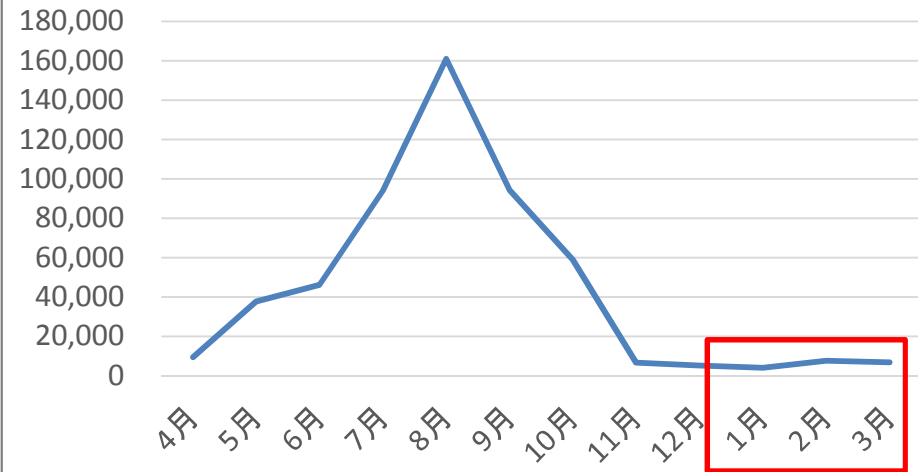


観光船乗客数 (羅臼町・観光協会調べ)

◆ 4~12月合計 ■ 1~3月合計 ▲ 各年度合計



月別平均入込数 (H24-H28)



流氷ダイビング、日本最大のダイビングイベント“マリンダイビングフェア”参加

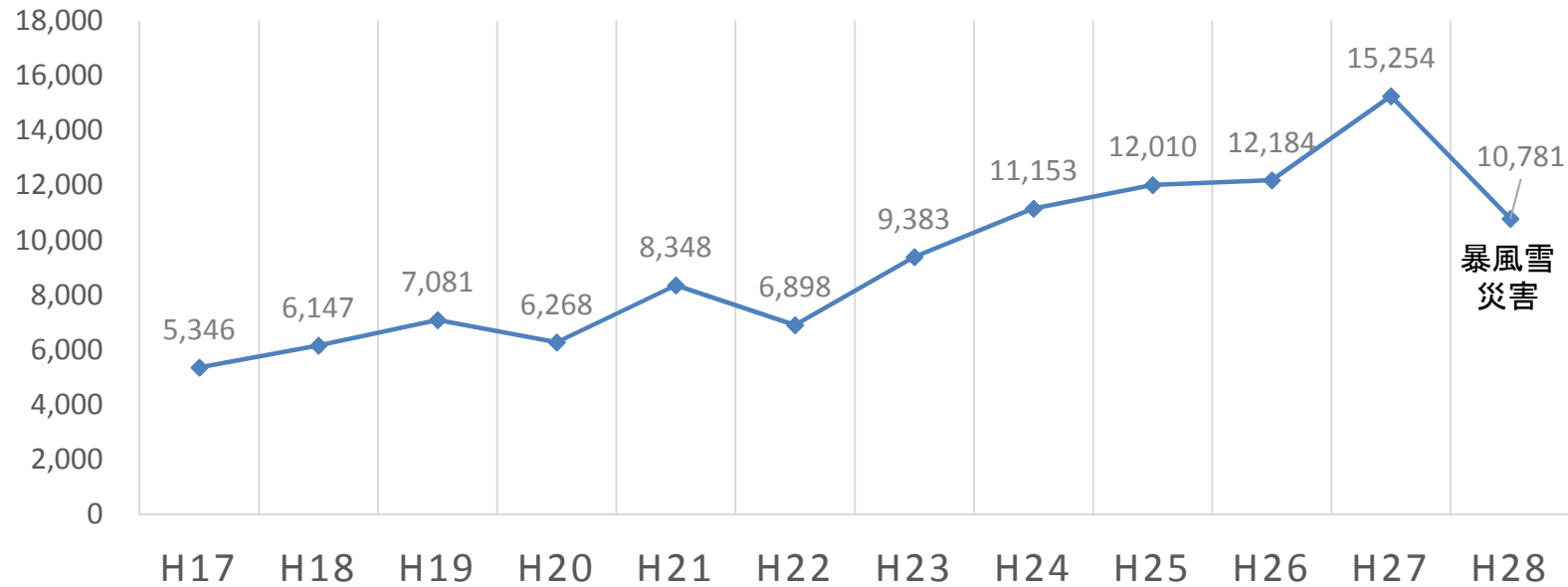


最大級のフクロウ“シマフクロウ”観察
世界最大のバードウォッチングフェア“B B W F”への参加、視察

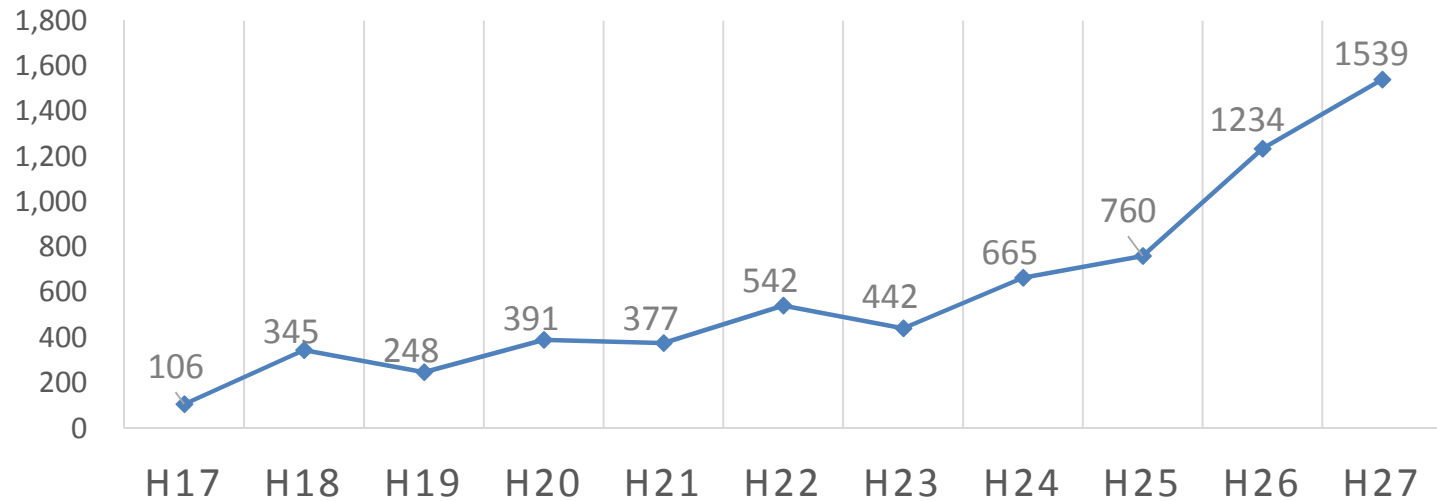


オオワシ・オジロワシに会える流氷＆バードウォッチングクルーズ
日本最大の鳥の博覧会“J B F”参加 “オオバン賞”史上初2回受賞

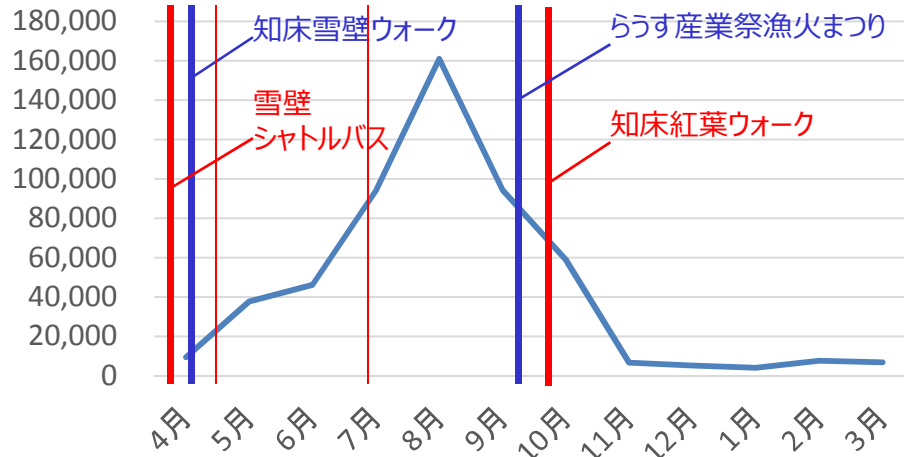
1・2・3月宿泊客数 (H19-H28)



外国人観光客宿泊者数 ※根室振興局産業振興部商工労働観光課 調査資料より



月別平均入込数 (H24-H28)



らうす漁火まつり →らうす産業祭漁火まつり に名称変更、3者共催
9月連休→9月最終週2日間に変更、魚職普及、**漁価〇%UP**、**宿泊満室**



雪壁シャトルバス4月初旬2日間
→中止
要旅行業資格、目標の約40%
雪壁ウォークとの差別化△
横断道路早期開通にむけた連携◎



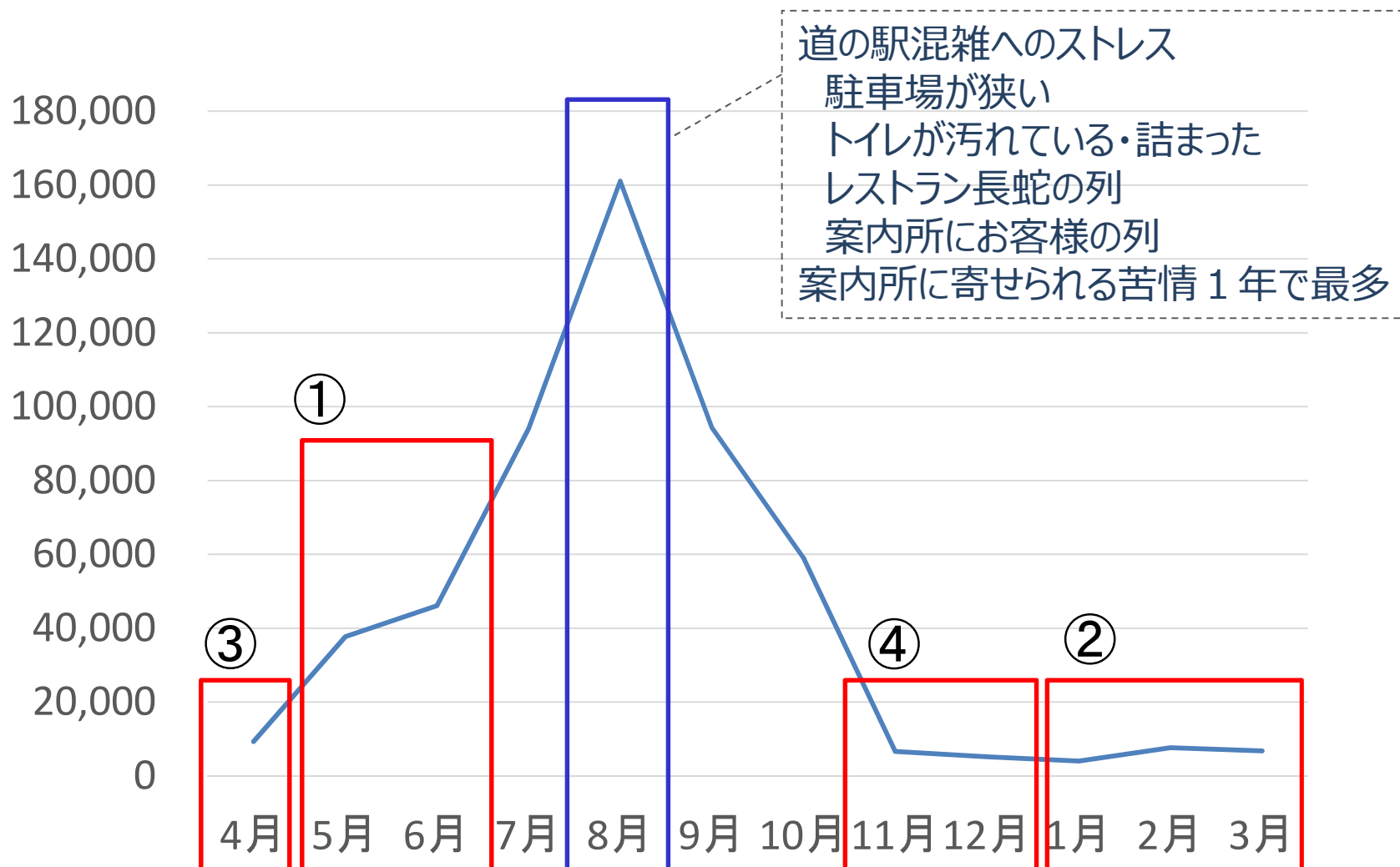
知床紅葉ウォーク10月初旬1日のみ
→中止
道路開通中特別感△
定員・採算ラインに達しない
町職員・観光協会総出

- ★実施できるか
- ★イベントと引き換えに失うものはないか
- ★目的は何か
- ★目的は果たされたか
- ★目標は何か
- ★目標は達成されたか



知床雪壁ウォーク 4月第2日曜1日のみ →継続
オンリーワンイベント、“知床横断道路まもなく開通の”全国ニュース”へ
250名定員、**宿泊率〇%UP**

月別平均入込数 (H24-H28)



来てみて“がっかり”を減らす実践、多様化への対応



- ・道路情報 ・天気予報 ・観光船運行情報
- ・船・宿予約手配：いかにニーズにマッチさせるか
- ・飲食店情報・駐車場誘導とスペース確保
- ★FB“羅臼であいたい”で悪いギャップを無くす
- ★道の駅「ウトロ シリエトク」との情報共有。
- ★ウトロ・羅臼観光船運行情報共有。
- ★知床全域情報ポータルサイト“情報玉手箱”（知床財団）

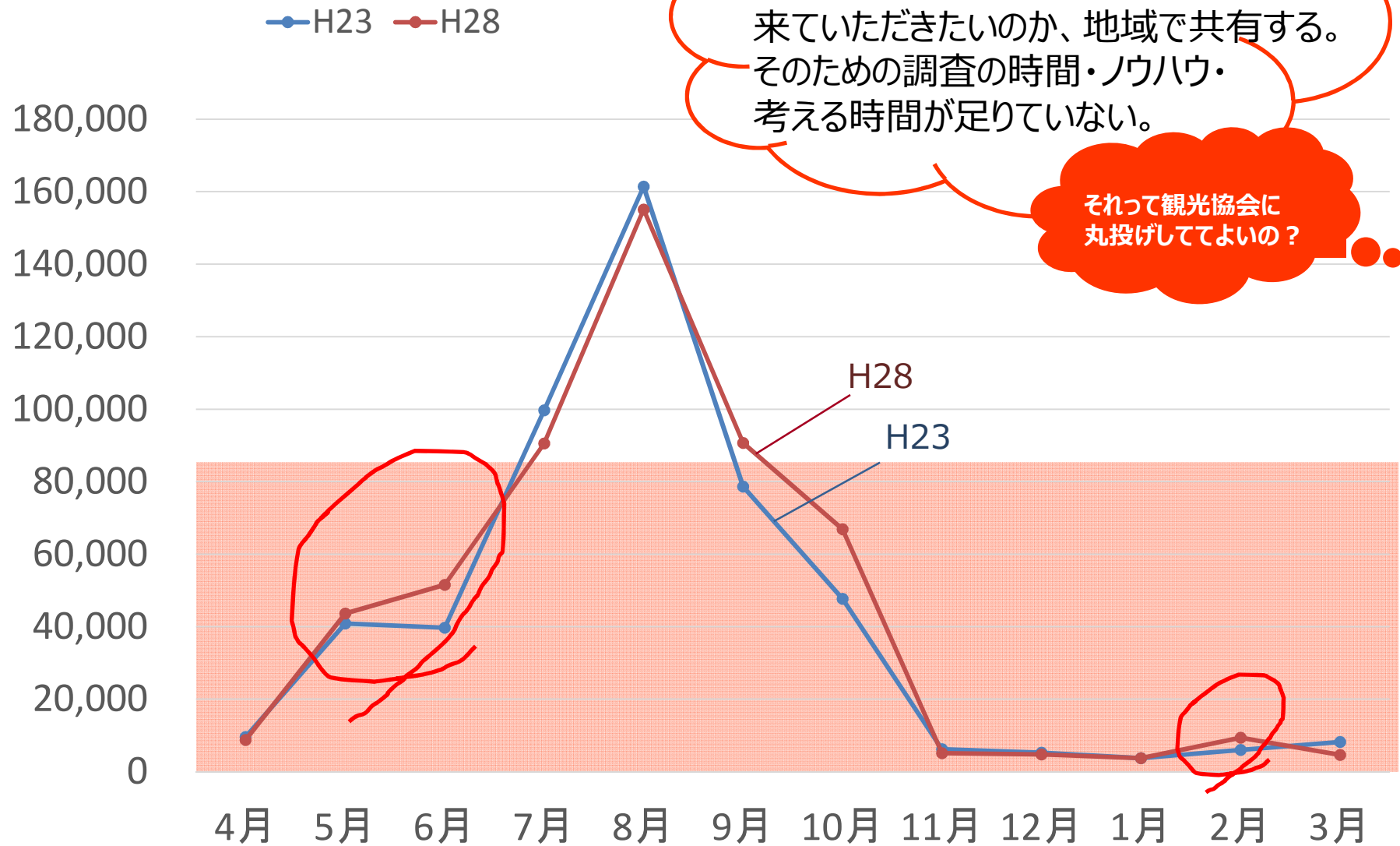


- ・指さし会話集“らうす版”
- ・海外からの送金受付Paypal導入
- ・ギャラリーミグロードOPEN

今すでに来てくれているお客様に
どれだけ満足していただけているか。
いつか行きたい場所でありつづけること
また行きたい場所でありつづけること

それが難しい…

入込数の比較 (H23・H28)



知床羅臼町観光協会 組織概略

【名称】 一般社団法人知床羅臼町観光協会

【会員】 121名

【役員】 理事7名（うち会長1、副会長3）
運営役員19名、監事2名

【事務局】 事務局長（常勤理事）1名
地域おこし協力隊2名

【協会変遷】

1956年 羅臼町観光協会設立
事務局長は観光課長が兼務

1994年 事務局長を民間から登用
事務局は役場内に設置

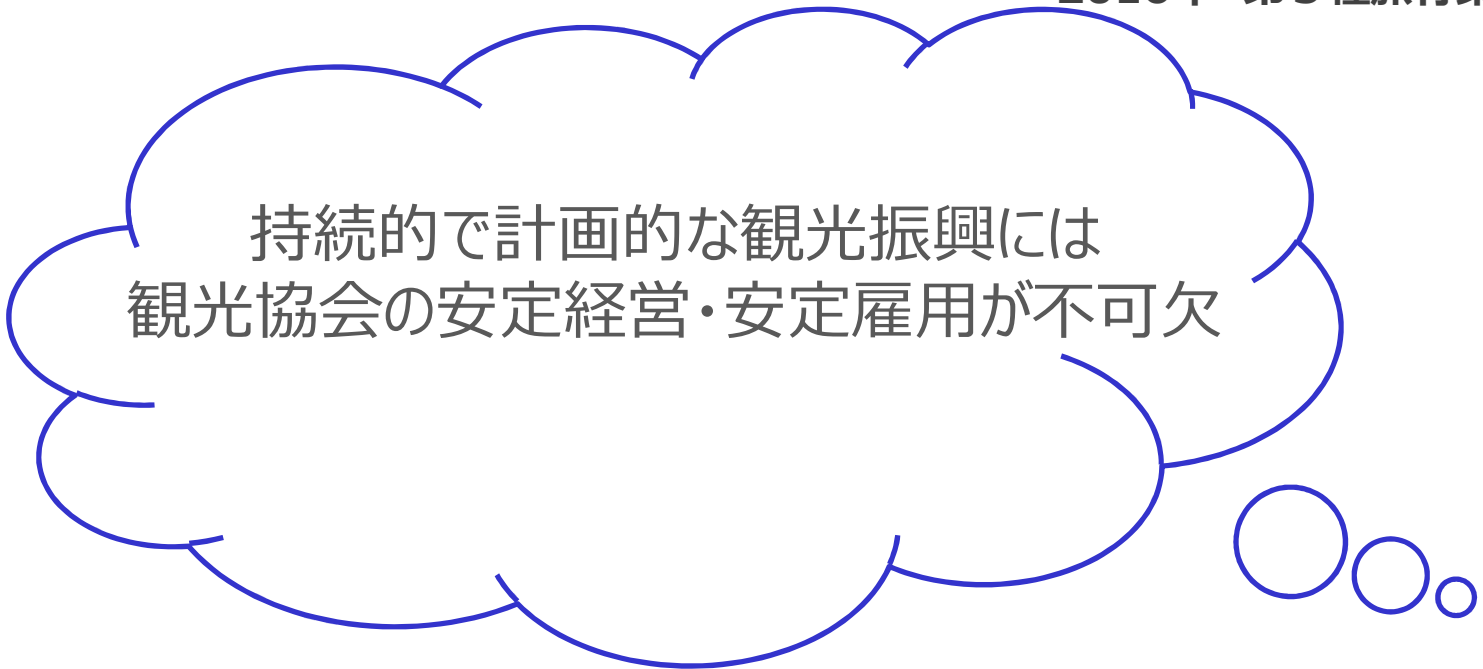
1999年 事務局を今の道の駅に移動

2007年 事務局長全国公募

（2007～2010年加瀬、2011年～池上）

2015年 法人格取得

2016年 第3種旅行業登録



持続的で計画的な観光振興には
観光協会の安定経営・安定雇用が不可欠

事業の見直し

旅行業登録

法人格・資金

収益事業の検討

- ✓協会員年会費の見直し 約30万円増
- ✓イベント・式典の見直し 4イベント減
- ✓案内所販売物の見直し 売上・利益率UP
- ✓組織検討委員会設置 組織の在り方を検討

✓事業の有料化、広告収入

・町内地図販売、事務手続き・視察・ヒアリング受け入れを有料化、グーグルアドセンス

✓一般社団法人へ移行（H27年4月）

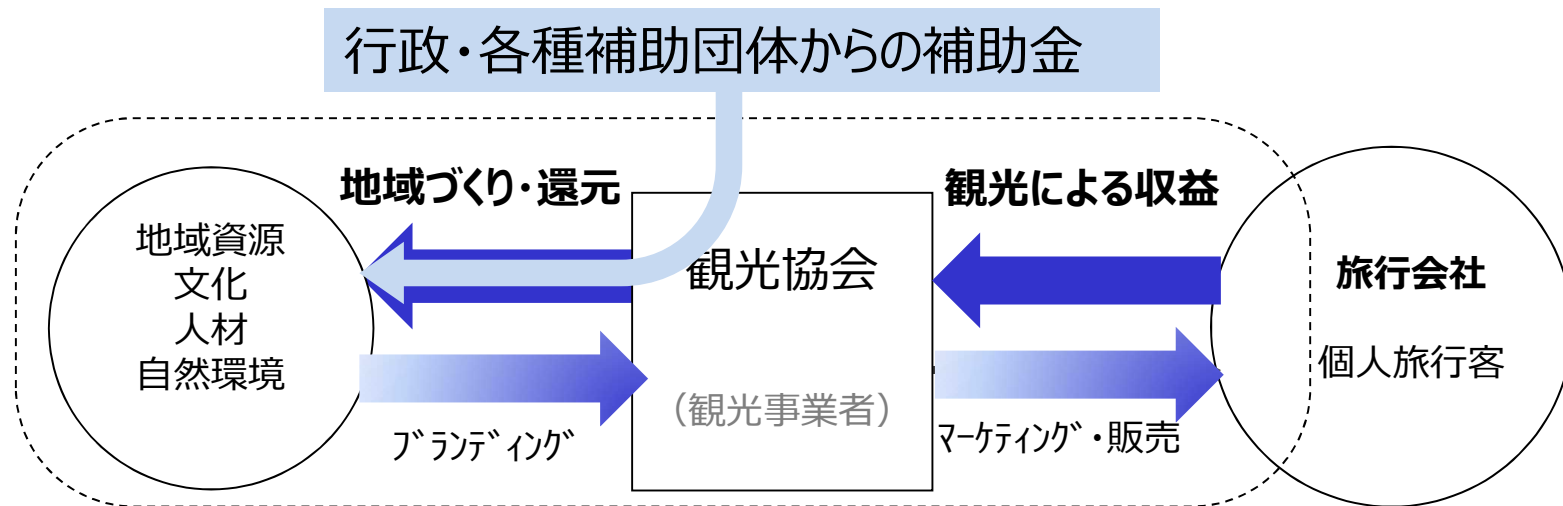
✓第3種旅行業登録（H28年1月）

✓収益事業の実施 ガイドツアー、観光船予約手配、宿泊あっせん

観光協会の課題

✓町内の中間組織としての役割の発揮


《人とお金が流れる仕組みづくりと地域還元》



✓執行体制の見直し 迅速な判断、決裁権の持ち方

✓安定的な人材の確保・育成 計画的な事業運営

✓自律的に使える財源の経常的な確保

A group of people on a boat are watching a large whale breaching the ocean surface. The whale is dark and sleek, with its tail visible above the water. The people on the boat are wearing colorful jackets and hats, and some are taking photos. The water is a deep blue color.

ご清聴ありがとうございました。

(一社) 知床羅臼町観光協会
事務局長 池上美穂